

# こだわりのいっぱい! 心地のいい家

取材・文／後藤由里子 (P52~57)、佐々木由紀 (P58~63)、  
藤城明子 (ポルタ P64~69)、高橋由佳 (P70~74)  
撮影／林 ひろし (P52~57)、瓜坂三江子 (P58~63)、  
坂本道浩 (P64~74)  
間取り図／長岡伸行 デザイン／矢代明美



## 高橋さん宅 (神奈川県)

8歳の女の子、6歳の男の子と。奥さまとお嬢さんはバレエを習っていて、ずっと伸びた姿勢が印象的でした。「子どものお友達遊びに来ると、スキップフロアの階段が大人気。みんな上で下りして駆け回っています」

### 1F ダイニング

スキップフロアの上にチラリとリビングが。このほどよい距離感が各スペースの心地よさを高めています。ハイサイドライトから1枚のカーテンをたらしただけで、のびやかな天井の高さがきわ立って。

高橋さんの新居を訪れてまず目を引くのは、おおらかな吹き抜けのダイニングスペース。梁をあらわにした高い天井と、大きなハイサイドライト、その下にはガラスに通じるフレンチドア……開放感あふれるダイナミックな空間に圧倒されます。

そのダイニングから階段を上ると、一転して落ち着いた雰囲気のリビングが。天井高はダイニングと同じですが、フロアが上がつている分だけ天井が低くなり、塗り壁とともに包み込まれるようなくつろぎ感を生み出しています。

この2つのパブリックスペースが、高橋さん宅の最大の魅力。ダイニングキッチンにはアクティブに過ごせる生活空間、リビングは家族でゆっくりできるくつろぎの場になりました。空間自体はつながっているのに、まったく違う過ごし方ができるのがいいですね。ゲストを何家族か招いたときも、それぞれのスペースで思い思いにくつろいでいました。リビングとダイニングのレベル差は140cmほど。子どもが手を伸ばせば届くくらいの高さなので、別々のフロアにいても一体感が感じられ、家族のコミュニケーションも十分にはかれます。お子さんたちは楽しそうにダイニングを見下ろしたり、手すり越しにママからおやつをもらったり。立本内な変化こそ

開放感あふれる  
ダイニングで

家づくりで重要なのは、家族が笑顔で暮らせること。  
プランから細部のデザインまで  
心地よく暮らすためのこだわりをかなえた  
4軒のお宅を訪ねました。

# 大集合

### 1F キッチン

素材使いもデザインも家具を  
思わせる、美しいキッチン。  
中央には木製のアイランドカ  
ウンターを配して、使い勝手  
とぬくもり感を両立させまし  
た。換気扇フードを下がり壁  
で隠したのもポイント。



のびやかな空間に  
こだわりの素材が美しく映える家